

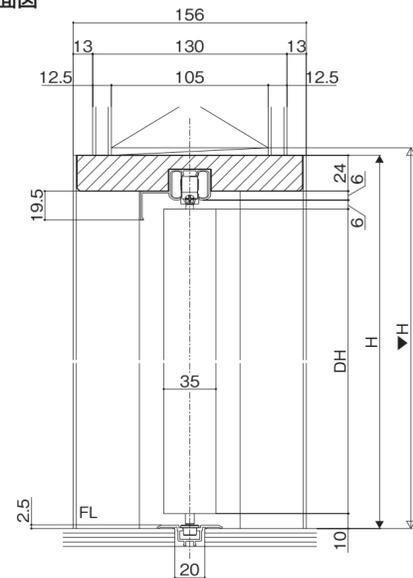


TOSTEM リビング建材 ウッディーライン 可動間仕切り 折れ戸タイプ 取付け説明書

■納まり図

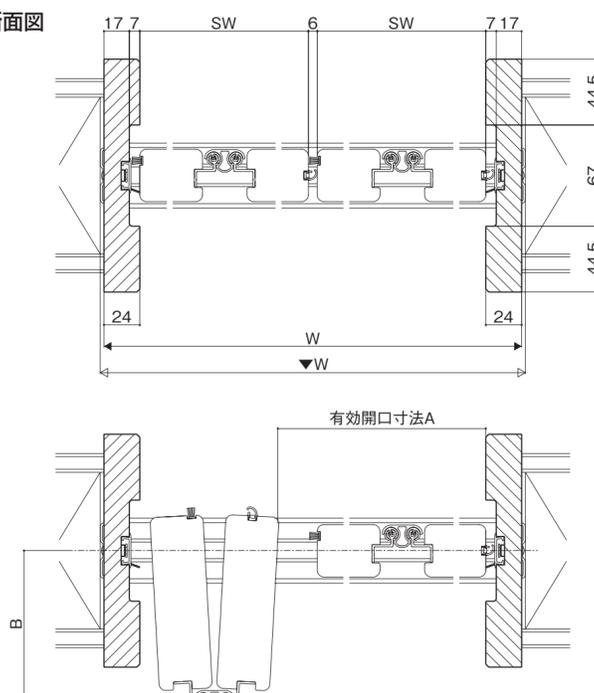
■可動間仕切り折れ戸ユニット ノンケーシング

●縦断面図



※ 枠見込み寸法が変わっても、下レールの位置は、縦枠センター位置となります。

●横断面図

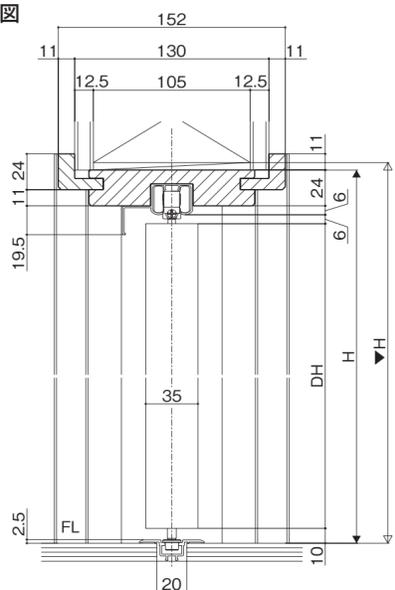


W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	1369	375
W25(2550)	2161	392.5
W34(3386)	2882	392.5

基本寸法 (mm)	W呼称	16	25	34
	W (DW)	1644(795)	2550(830)	3386(830)
	H呼称	23	-	-
	H (DH)	2306(2260)	-	-

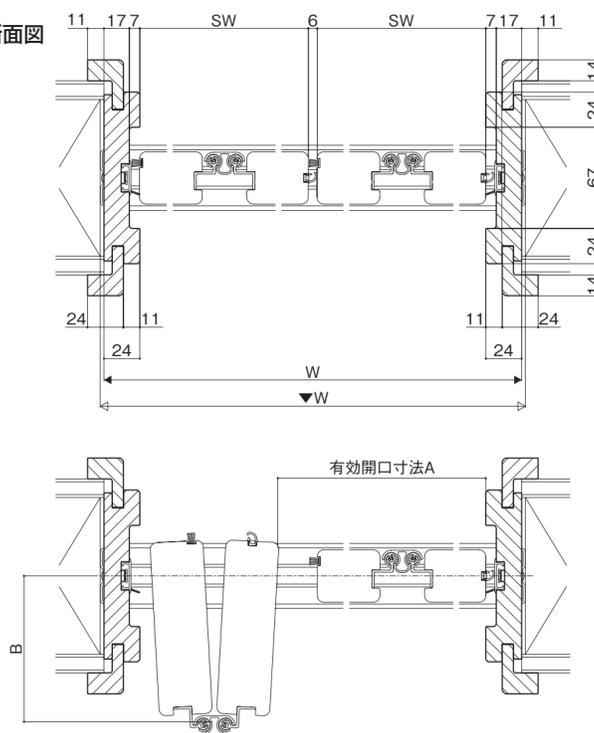
■可動間仕切り折れ戸ユニット ケーシング付

●縦断面図



※ 枠見込み寸法が変わっても、下レールの位置は、縦枠センター位置となります。

●横断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	1369	375
W24(2445)	2056	375
W34(3386)	2882	392.5

基本寸法 (mm)	W呼称	16	24	34
	W (DW)	1644(795)	2445(795)	3386(830)
	H呼称	23	-	-
	H (DH)	2306(2260)	-	-

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 上レールは仮固定ですので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 吊車は指定のねじで締め付け、ガタツキのないように固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 本体は把手をもって操作してください。本体と枠のすき間や、本体間のすき間で手や指をはさみケガをするおそれがあります。

■取付け上のお願

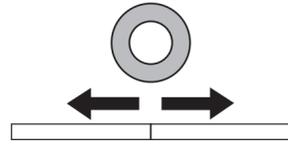
- 本製品は、ケーシングタイプ薄壁用は壁厚(111~141mm)、厚壁用は壁厚(142~182mm)、ノンケーシングタイプNC156は壁厚(116~130mm)、NC171は壁厚(131~145mm)、NC180は壁厚(146~160mm)に取付けられます。
- 本製品は上吊り方式のため、梁又はまぐさで重量を受けます。必ず本体重量に耐える断面寸法の梁又はまぐさをご使用ください。
- 梁又はまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いので直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けてください。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後は、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 造作材・建具枠を取り付ける際は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 上枠とまぐさのすき間は、必ずかい木を入れてください。
- かい木は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくって納めてください。
- 縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整してすき間をなくし、内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合は、かい木を入れてください。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 下レールは、補強材が入っていることを確認してから取付けてください。
- ガイドピボットは、必ず樹脂部が木に当たって押込んでください。ガイドピボットの破損・変形により、開閉に支障が出るおそれがあります。
- ジョイントレールを取付ける際は、ジョイント部に段差が出ないように注意してください。吊車破損の原因になります。
- ストッパーは簡易固定用です。ぶつかると、本体が開くことがあります。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。

間口	本体重量	梁・まぐさの断面寸法(幅×高さ)
6尺	50kg	105mm×180mm以上
9尺	75kg	105mm×300mm以上
12尺	100kg	105mm×360mm以上

■本体の開閉操作上のお願い

1 本体の開閉方法

●本体の開閉は右図のように本体をフラットな状態で移動させてください。



※扉をたたんだ状態では、移動させないでください。動きがギクシャクしたり、ガイドピボットの走行に支障がでたりする場合があります。

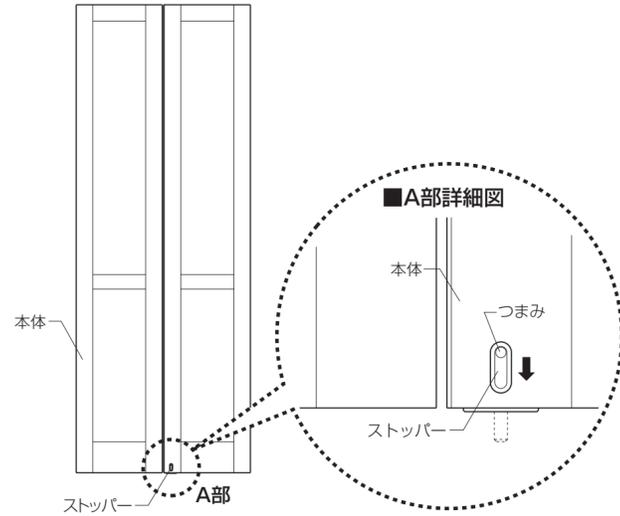


2 ストッパーの使用法

●扉がフラットな状態で任意の位置でつまみを下げると、ロックがかかり本体が開かなくなります。

※ストッパーは簡易固定用です。ぶつかったりすると本体が開くことがあります。

●お願い
※扉を閉めた時は、ストッパーでロックしてください。ロックしないと、強風などで扉が開くことがあります。



■部品・部材の明細

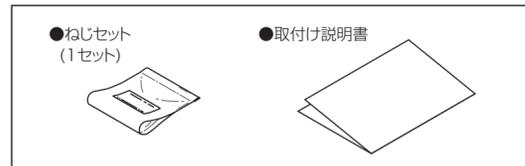
■部材の明細 ※本体・枠セット・ケーシングセット(ケーシングタイプ)は別梱包です。

折れ戸本体	折れ戸用枠
(1セット)	●上枠(レール付き)
	●縦枠(2本)
	●下レール(1本)
	●ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)
	●ケーシングセット(6本)
	●戸当り(2本)

■本体用部品<本体同梱>

吊車	ガイドピボット	タッピングスクリュー ねじφ4×55
2	2	2 (吊車取付け用)

■枠用部品<枠同梱>



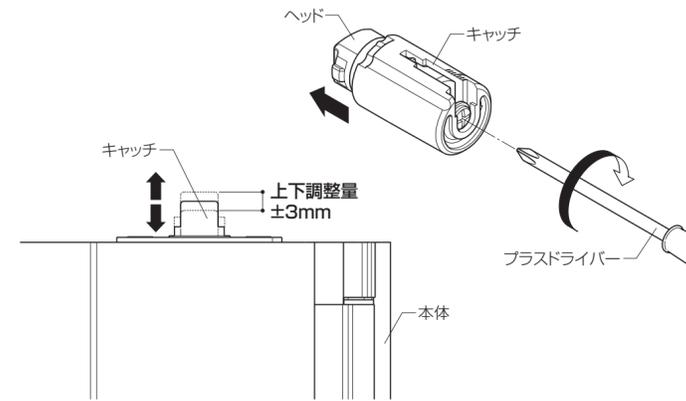
【枠用ねじセット明細】

	W16	W24 / W25	W34
組立て用 皿小ねじM4×50	4本	4本	4本
上枠取付け用 トラスタッピングねじφ4×50	※10本	※12本	※15本
縦枠取付け用 ナベタッピングねじφ4×40	6本	6本	6本
下レール固定用 皿タッピングねじφ3.5×20	5本	7本	9本

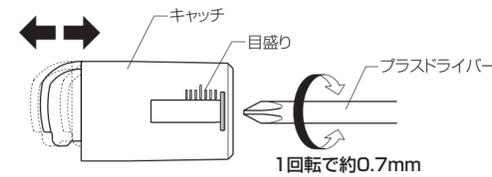
※予備用4本含む

③キャッチ下面の調整ねじをプラスドライバーで回して調整してください。
※時計回りに回すとキャッチのヘッドが上がります。

●キャッチ力が弱いとき。	時計回り
●キャッチにガタツキがあるとき。	
●キャッチ力が強いとき。	反時計回り
●キャッチが上枠に当り、本体を閉めることができないとき。	

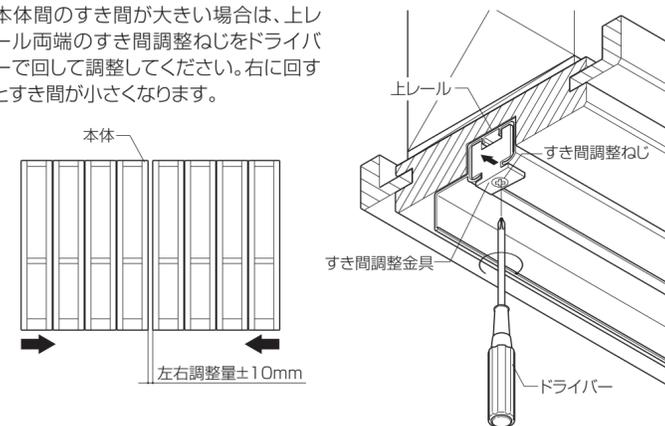


※ねじ1回転で約0.7mm上下します。キャッチ側面の目盛りを目安にして調整してください。



【左右方向の調整】

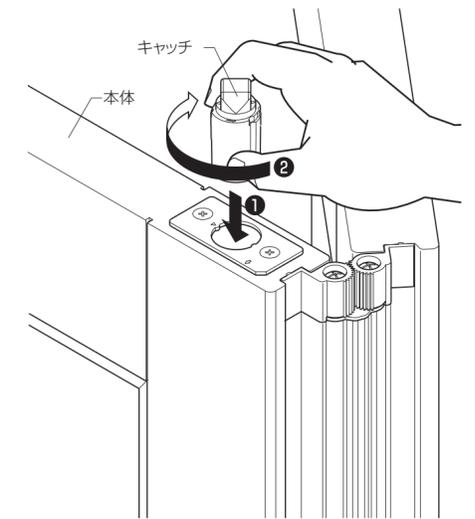
●本体間のすき間が大きい場合は、上レール両端のすき間調整ねじをドライバーで回して調整してください。右に回すとすき間が小さくなります。



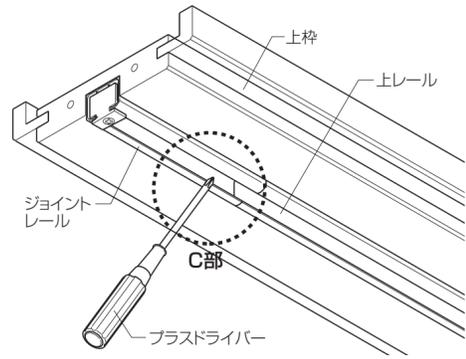
④キャッチを取付け穴に差し込み、キャッチのヘッドを右に回してロックしてください。
※ヘッド取付け向き間違い防止のため、押え板の突起の位置がずれています。押え板の突起の位置とキャッチの切欠きの位置を合わせて差し込んでください。

●お願い
※必ず「カチッ」という手応えを感じるまで右に回してください。キャッチのロックが不完全な場合、キャッチが破損するおそれがあります。

⑤本体を閉めて、キャッチの掛かりを確認してください。問題がある場合は、①～④の作業を繰り返してください。

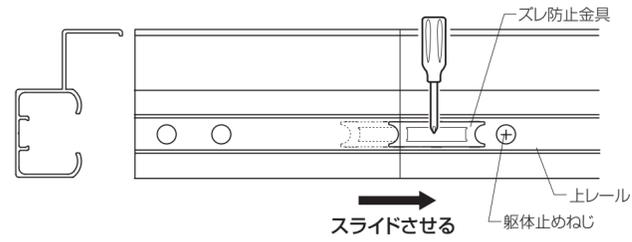


⑩ジョイントレール取付け後、スレ防止金具をスライドさせます。

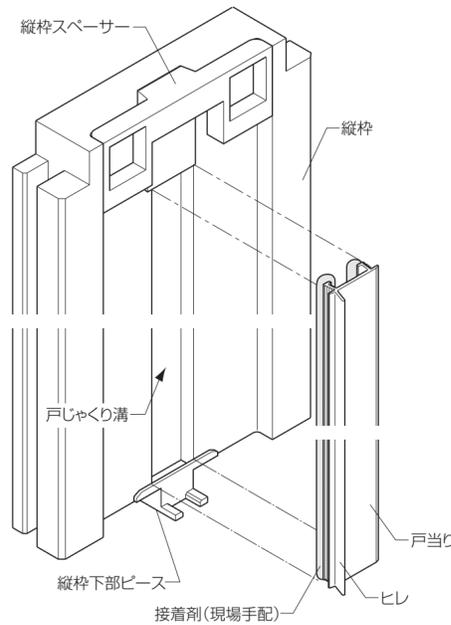
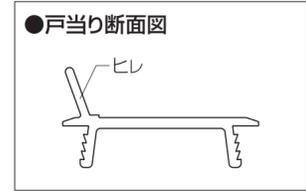
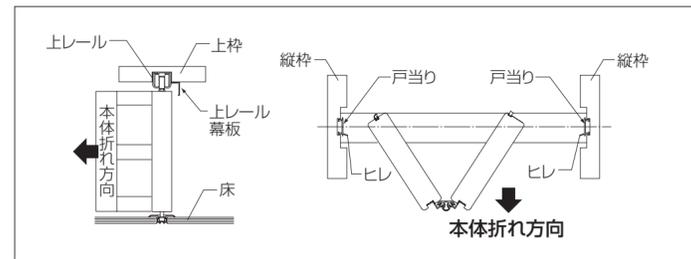


■C部詳細図

※前後のスレを手で合わせ、プラスドライバーでスライドさせます。



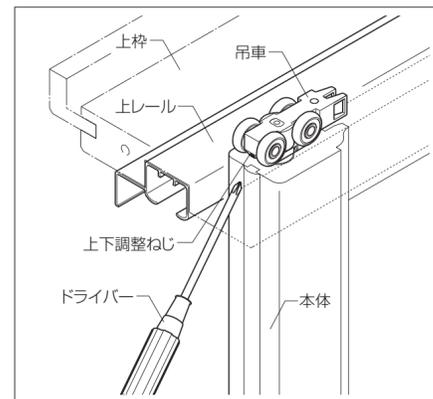
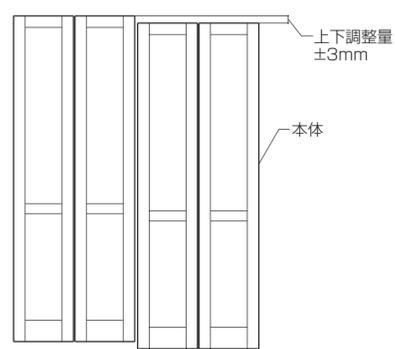
⑪戸当りに接着材(現場手配)をつけて下図に従い、本体の折れる方向にヒレを向けて取付けてください。
※ボンドがはみ出さないよう塗布量を調整してください。
※逆にすると本体の開閉に支障がでるため、必ず正しい向きにしてください。



⑫建付け調整

〈上下方向の調整〉

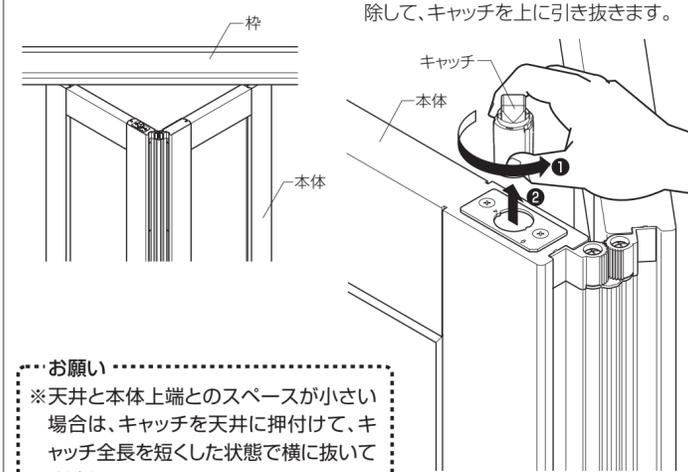
●本体が段違いになった場合は、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回して調整してください。



〈本体の振れ止め調整〉(キャッチの上下調整)

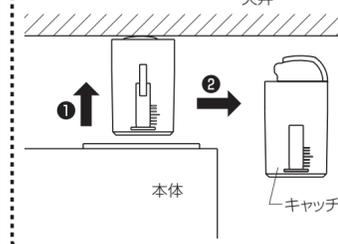
①本体を開けてください。

②キャッチのヘッドを左に回してロックを解除して、キャッチを上引き抜きます。



お願い

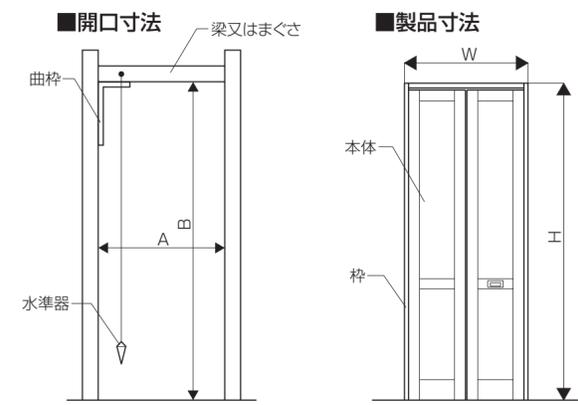
※天井と本体上端とのスペースが小さい場合は、キャッチを天井に押付けて、キャッチ全長を短くした状態で横に抜いてください。



■開口部の作り方

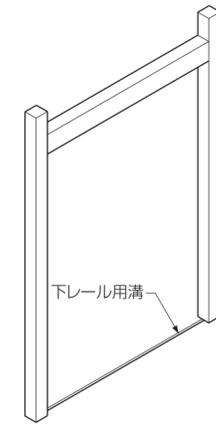
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口A寸法	製品寸法W+5mm
開口B寸法	製品寸法H+5mm

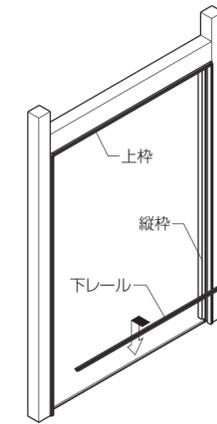


■取付け順序

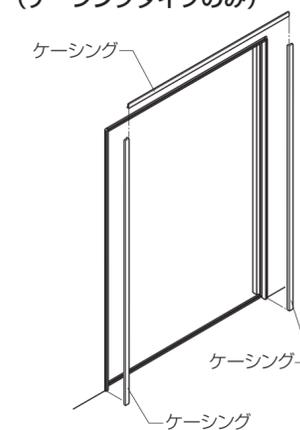
①開口部の作成・床の施工



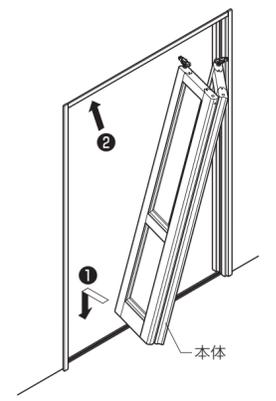
②枠の組立て・取付け



③ケーシング材の取付け (ケーシングタイプのみ)



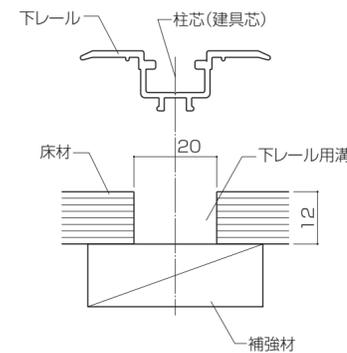
④本体の取付け
⑤建付け調整



■取付け手順

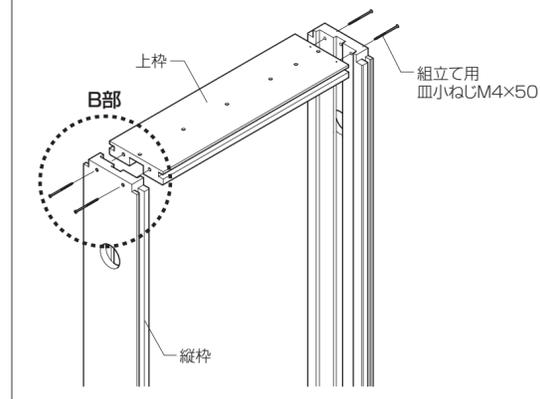
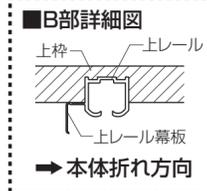
①開口部の作成・床の施工

①製品寸法表から開口寸法を算出し、開口部を作ります。
②下レール用溝の加工位置を決めます。
※補強材が入っていることを確認してください。
③床を施工します。

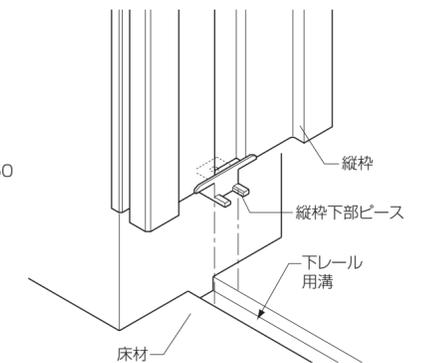


②枠の組立て・取付け

①上枠と縦枠を同梱の組立て用ねじ(皿小ねじM4×50)で組立てます。
※上枠は、左右兼用で取付けられますが、本体の折れ方向によって決まります。

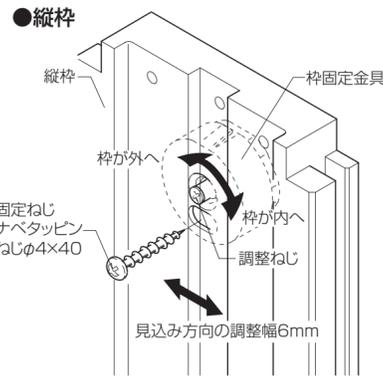
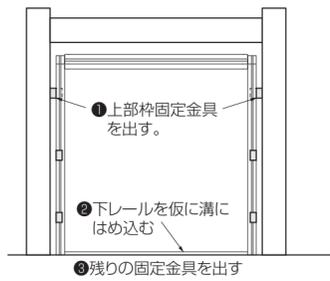


②枠を開口部に入れ、縦枠下部ピースを床の下レール用溝にはめ込んで位置出しします。
※15mmの床材を使用する場合は、下地材(3mm厚)を下レール用溝に取付けてください。



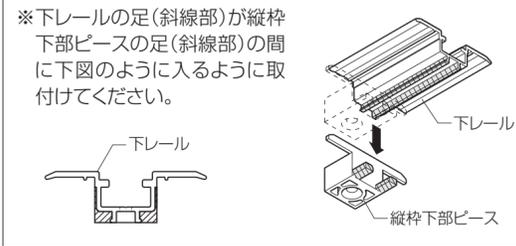
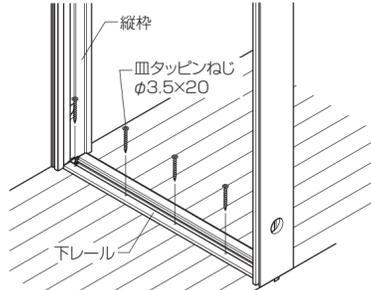
③縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。

※上部枠固定金具を先に出し、仮固定させ、下レールを溝にはめ込んだ後、残りの枠固定金具を出してください。

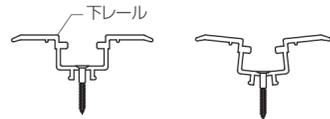


- ④枠の垂直を確認してください。
⑤固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
⑥枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです。)調整後、ねじで固定してください。
⑦枠の垂直を確認してから、枠固定金具を取付けている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
⑧再度、枠の垂直を確認してください。
※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用ねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で固定してください。

⑩下レールの取付け
下レールをねじ(皿タッピンねじφ3.5×20)で固定します。この時、下レールと縦枠下部ピースをはめ込んでからねじ止めしてください。下レールの浮き上がりや本体開閉不具合の原因となります。



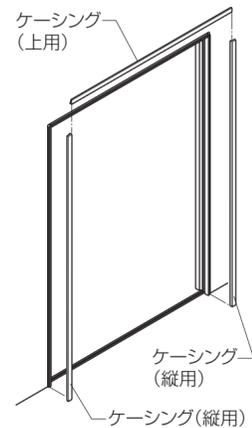
●お願い
※下レールを取付けるねじは締めすぎないようにしてください。下レールが変形し、本体開閉の不具合の原因となります。



3 ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)

※壁材・床材を仕上げたからケーシング材を取付けてください。

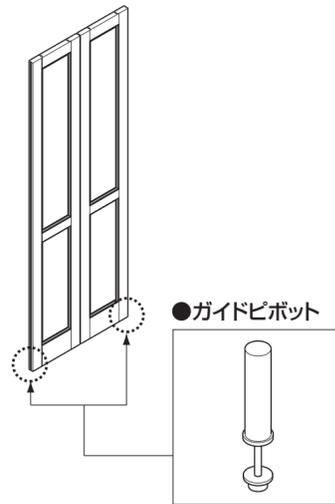
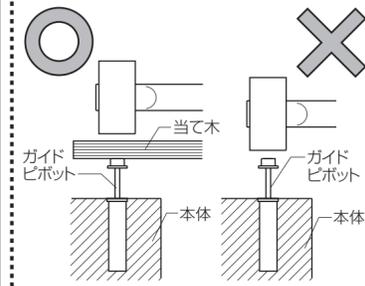
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。
※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



4 本体の取付け

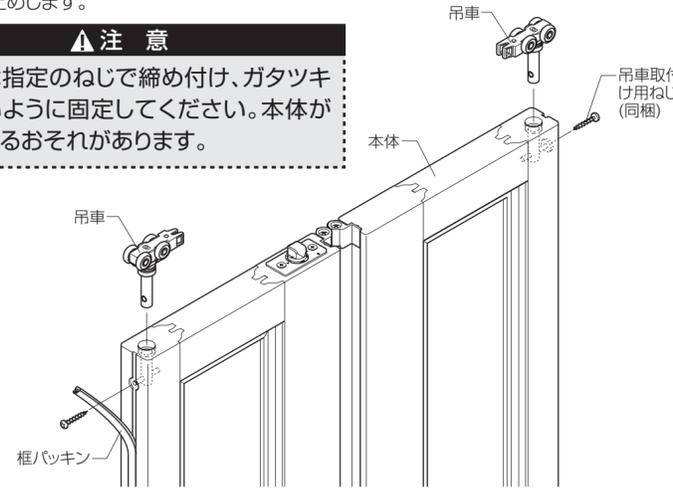
①ガイドピボットの樹脂部に当て木をし、本体下部の加工穴にたたき込みます。

●お願い
※ガイドピボットは、必ず樹脂部に当て木をして押込んでください。ガイドピボットの破損・変形により、開閉に支障が出るおそれがあります。



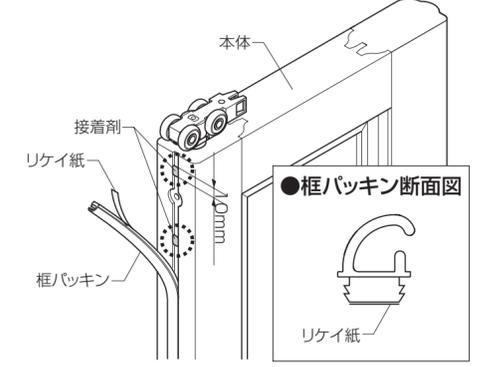
②本体上部の加工穴に吊車を差込み、枠パッキンをよけてねじ止めします。

▲注意
●吊車は指定のねじで締め付け、ガタツキのないように固定してください。本体が脱落するおそれがあります。

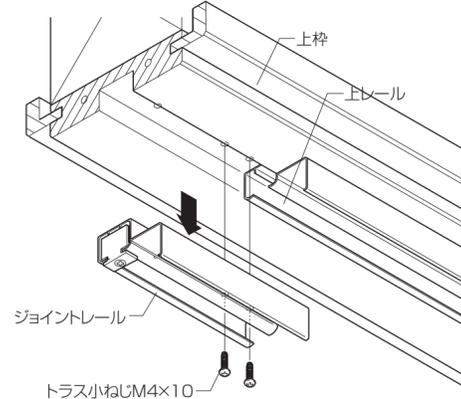


③枠パッキン取付け部の先端と中間部(下図参照)に、接着剤(現場手配)を10mmほど塗布します。

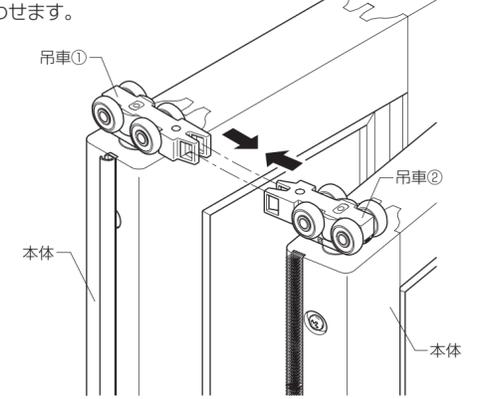
※はみ出さないよう塗布量を調整してください。
④枠パッキンのリケイ紙をはがし、本体上部に張付けます。
※必ずマスキングテープなどで仮固定し、接着剤が完全に固まるまで1日程度扉を閉めないでください。



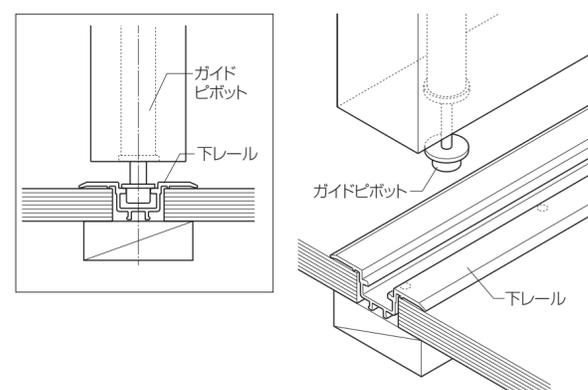
⑤トラス小ねじを外し、上枠のジョイントレールを外します。



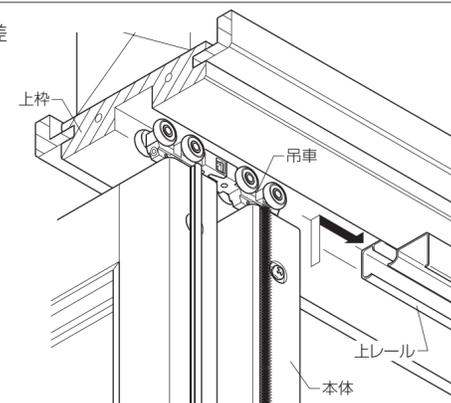
⑥本体を折りたたみ、左右の吊車同士をかみ合わせます。



⑦ガイドピボットを、下レールに差込みます。



⑧上レール端から、吊車を差込みます。



⑨ジョイント部に段差がでないよう、ジョイントレールを取付けます。

